

### Q3

ごみの分別をする際にご自身が日常的に感じていることや、ご意見があれば、知りたいです。

A

**中村:** 自分たちが出したごみが、どんなふうになに生まれ変わるのか、想像がつくと、もっと前向きに分別ができるのかなと思います。

**萩原:** 家の内外で分別したごみを保管したり、汚れたビニールを洗ったりと、大変なのは事実です。回収の回数も含め、回収日に出せなかった時の対応や、高齢者のごみ出しも今後の課題と考えています。また、企業には「つくる責任」を通して、ごみを減らす商品開発にも取り組んで欲しいと願っています。



### Q4

協議会に対して、期待されていることがあれば、教えてください。

A

**中村:** 自分たちがこうして取材をしていただけたら大崎町が目目されたりするのは、住民の方々が真面目に分別に取り組んでくださったおかげだと思っています。この取り組みを継続するためにも、ぜひいろいろな方法で情報発信していただきたい。SDGsという言葉は、テレビなどでよく取り上げられますが、聞いたことはあるけど意味をよく知らない方も多いと思うんです。大崎町内で起きていることの、何がSDGsなのか、身近なところから理解できるように発信していただきたいと思っています。

**萩原:** 協議会は何を目指し、どういう目的を持ち、現在何に取り組んでいるのか、町民に発信していただけると、理解から共感へ連携から応援へと信頼関係が構築されていくのではないのでしょうか。地元住民の方々と、皆さんのように大崎町に移り住んでこられた方々との意見交換も大切だと思います。さらに、衛生自治会と協議会で手を取り合って、様々な課題を克服しながら持続可能な大崎町の実現を目指していきたいと考えています。



分別の仕方を教えたり教わったり、信頼関係があるからこそ成り立つし、ここまでやってこられたのだなと改めて感じました。私たちメンバーもみなさんと信頼関係が築けるよう、しっかりとお伝えしていかなければと、改めて思いました。中村さん、萩原さんありがとうございました。



公式サイトは  
こちら

SNSもやってます!



お問い合わせはこちら

一般社団法人大崎町SDGs推進協議会

〒899-7301 鹿児島県曾於郡大崎町菱田1441

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅 管理棟2F

info@osakini.org / 099-478-1487